

開会挨拶（2023年10月24日）

皆様こんにちは。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。第90回運輸政策セミナーの開会に当たり一言申し上げます。

去る10月6日、政府は物流問題の関係閣僚会議を開き、来年4月に実施されるトラック運転手などの時間外労働規制に伴って、人手不足が深刻化し輸送量の減少が懸念される「物流2024年問題」への緊急の対策をまとめるなど、物流は、我が国で最もホットな 이슈となっています。

当研究所においても、昨年度から「デジタル技術の活用等による持続可能な物流システムの構築に関する調査研究」を実施しているところでありますが、本日のセミナーでは、「迫りくるトラック運転手不足に対する戦略的政策提言」をテーマとして、皆様と一緒に議論を行い、考察を深めたいと考えております。

本日のセミナーでは、まず、当研究所の元常務理事で東京海洋大学客員教授の土屋知省さんに講演をしていただきます。

土屋さんは、私とは運輸省入省同期であり、ハーバード大学ケネディ行政大学院留学、在米国日本国大使館駐在を経て、総合政策局、鉄道局、自動車局、海上保安庁、警察庁、鉄道・運輸機構などで活躍されました。国交省退職後は、当研究所で常務理事・ワシントン国際問題研究所長を務めた後、日本冷蔵倉庫協会理

事長のかたわら、東京海洋大学において「トラックドライバー不足に対応するための戦略的な政策立案に関する研究」で博士を取得されています。

次に、本日のセミナーの進め方ですが、土屋さんの講演に対して、東大の田中准教授にコメントをしていただき、その後、東大の西成教授をモデレーターとして、ディスカッションと質疑応答を行います。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどしどしお寄せいただければと思います。

なお、モデレーターの西成教授とコメンテーターの田中准教授には、先に申し上げました当研究所の「デジタル技術の活用等による持続可能な物流システムの構築に関する調査研究」に、検討委員会の座長と委員としてご参画いただいているところであります。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げるとともに、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、誠に簡単ではありますが、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしく願いたします。